



第12回国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議

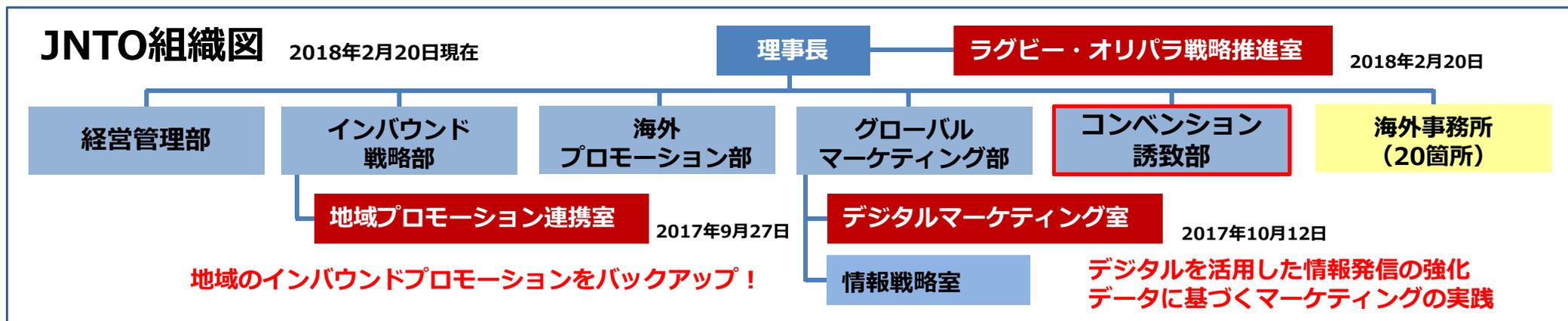
国際会議等各種会議の 北海道開催推進に係る取組

平成30年5月28日

日本政府観光局 (JNTO)
コンベンション誘致部

日本への外国人旅行者の誘致活動を行うことにより、国際観光の振興を図る政府機関

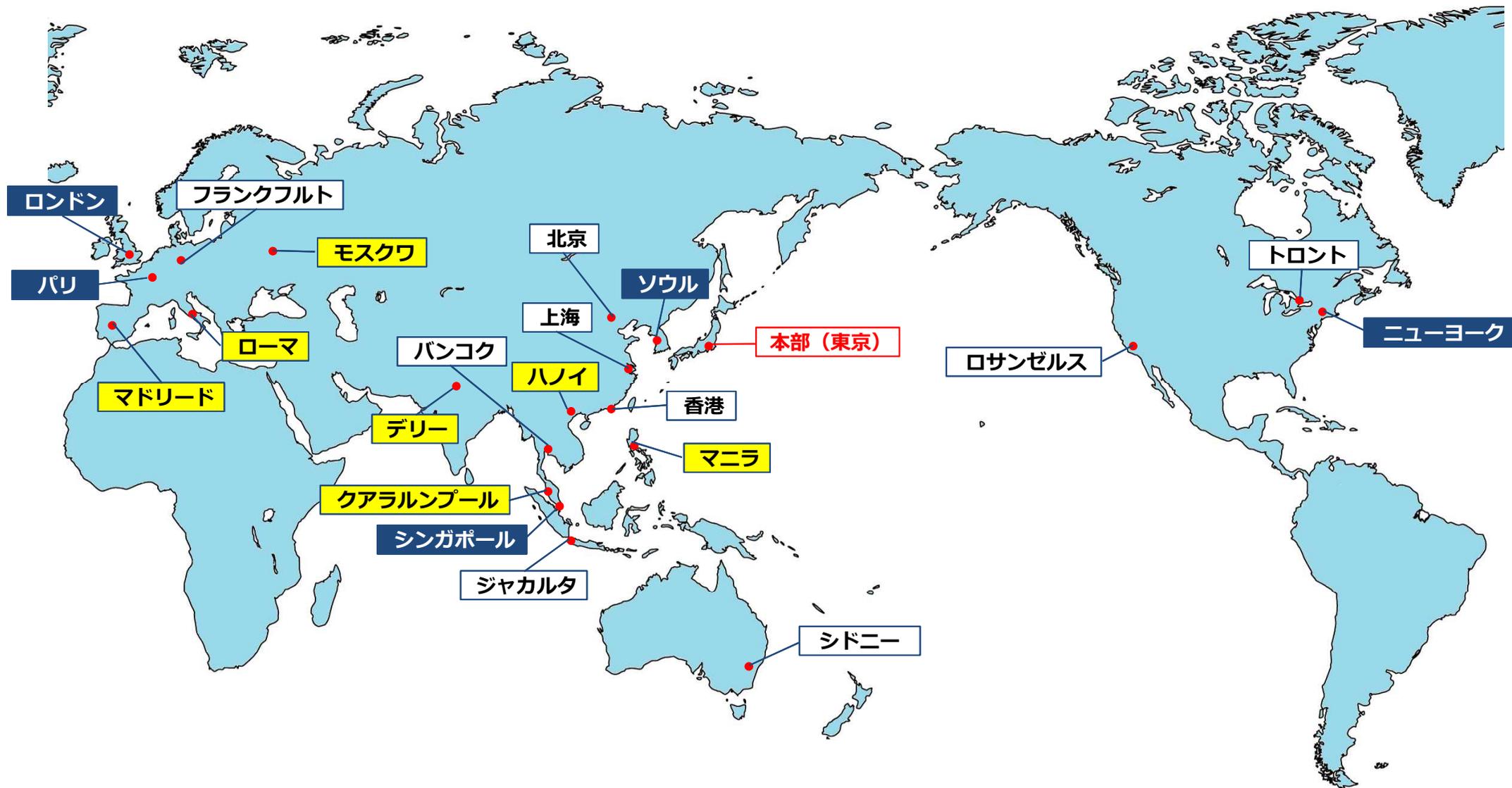
- **正式名称** : 独立行政法人国際観光振興機構（国土交通省 観光庁所管）
- 通称** : 日本政府観光局
- 略称** : JNTO（Japan National Tourism Organizationの頭文字）
- **国内拠点** : 本部（東京）1室5部制
- **海外拠点** : 20事務所（ソウル・北京・上海・香港・バンコク・シンガポール・ジャカルタ
シドニー・ロンドン・フランクフルト・パリ・ニューヨーク・ロサンゼルス
トロント・モスクワ・クアラルンプール・ハノイ・デリー・ローマ・マドリード
※マニラ新規開設予定



訪日プロモーション事業
の推進

国際会議等の誘致・開催
支援事業の実施

海外事務所のネットワークを
活用した情報収集・広報宣伝
及びマーケティング活動

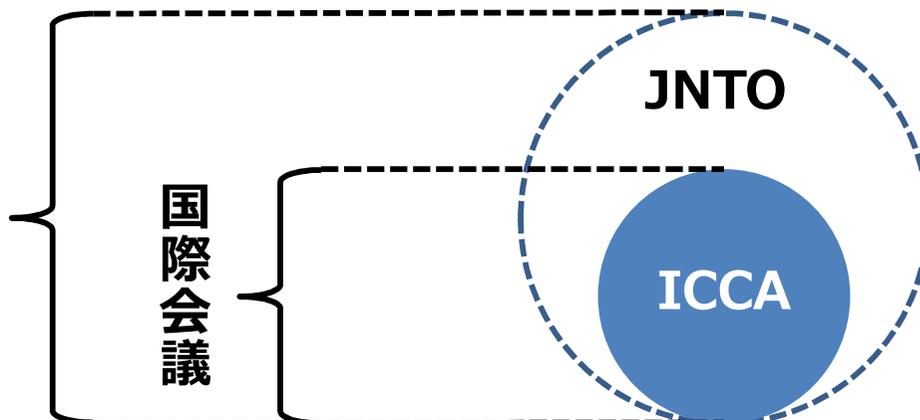


平成28年度以降、クアラルンプール、マニラ、ハノイ、デリー、ローマ、マドリード、モスクワに新たに事務所を開設。※マニラは開設準備中
ニューヨーク、ロンドン、パリ、ソウル、シンガポールにMICE専門スタッフ配置

	ICCA (※)	JNTO
主催者に関する基準	3カ国以上をローテーションする国際機関	「国際機関・国際団体」（各国支部を含む）又は、「国家機関・国内団体」（民間企業以外）
参加者総数	50名以上	50名以上
参加国	—	日本を含む3カ国以上
開催期間	定期的に開催	1日以上
日本の国際会議開催件数	414件（2017年） 410件（2016年）	3,121件（2016年） 2,847件（2015年）

（外国人が参加する国内会議含む）

広義の国際会議



※ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）

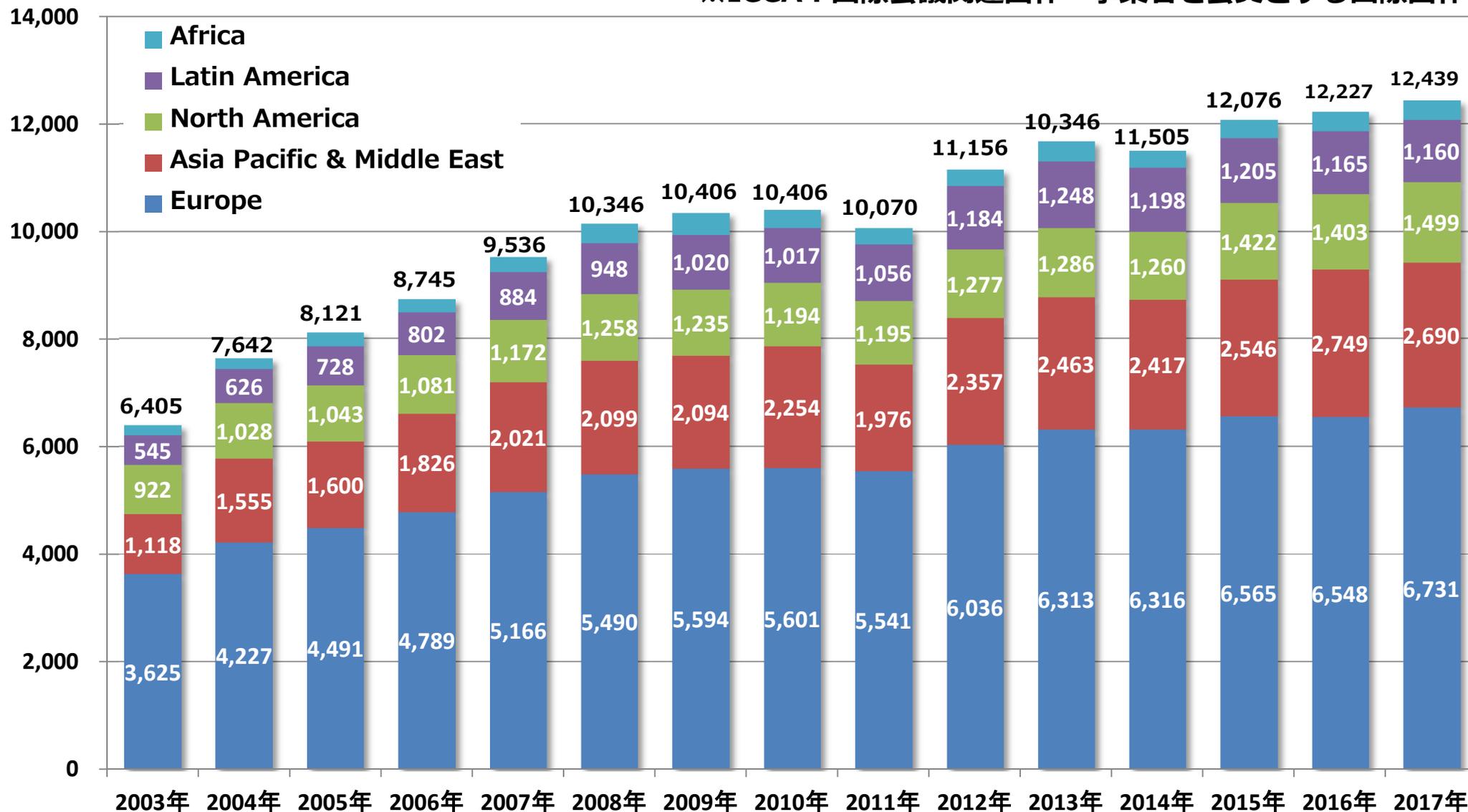
アムステルダムに本部を置き国際会議の開催状況を収集・発信している国際機関。世界90ヶ国の約1,000団体の業界関係者が所属しており、年1回発表される世界の国際会議開催件数は、世界全体の国際会議開催状況を把握する統計として注目されている。

世界及び地域別の国際会議開催件数の推移

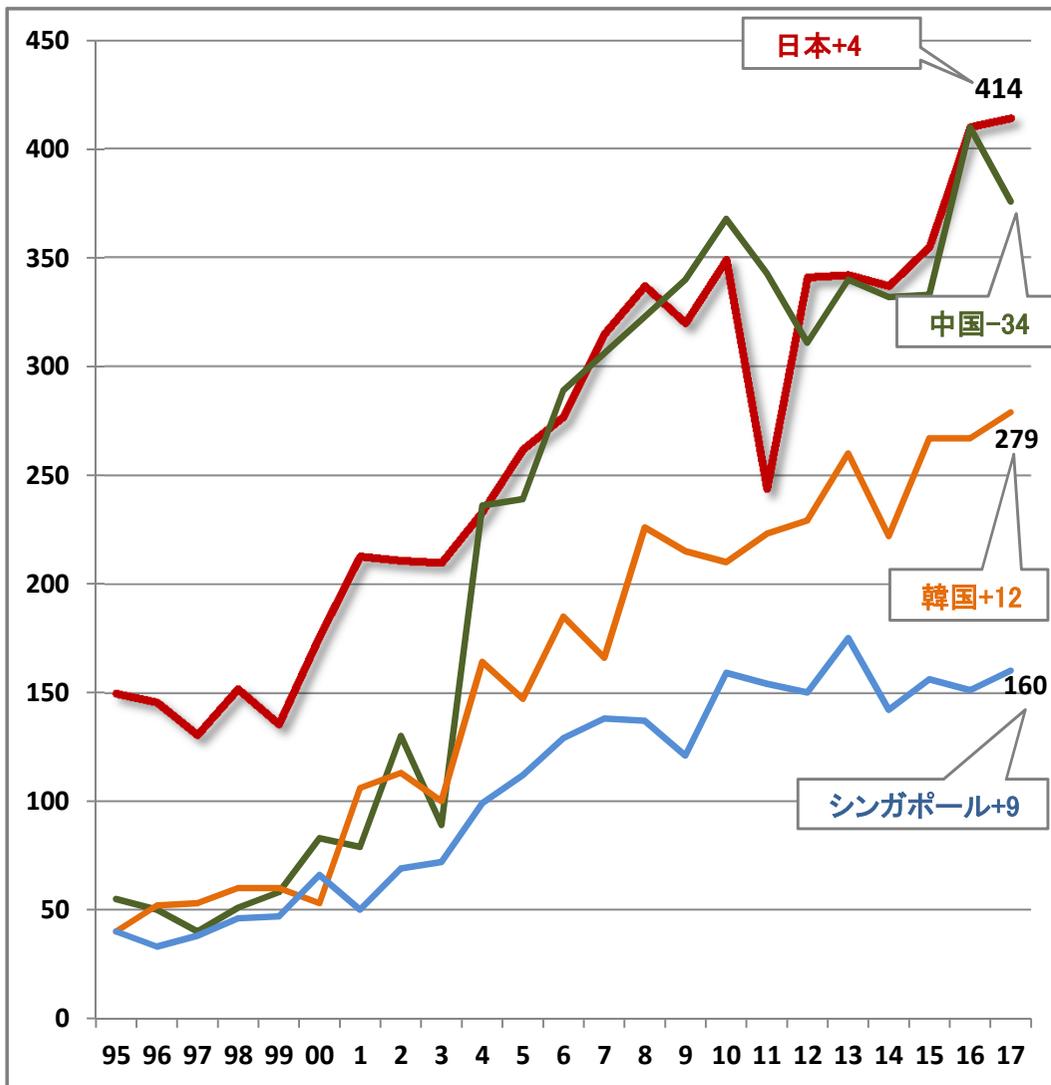
ICCA (International Congress and Convention Association) の国際会議統計

(件)

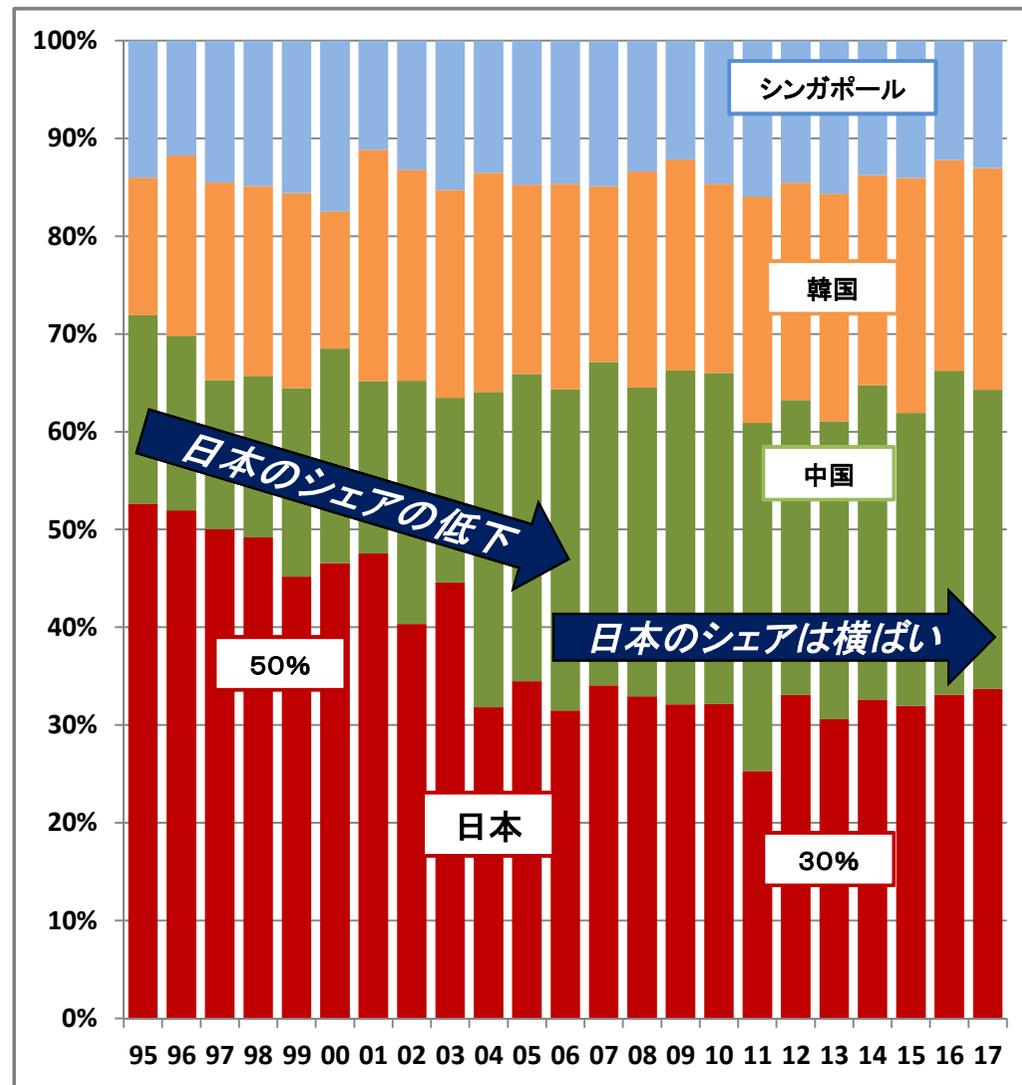
※ICCA：国際会議関連団体・事業者を会員とする国際団体



アジアにおける主要国の国際会議開催件数 (1995～2017)



アジアの主要国の国際会議開催件数に 対する日本のシェア推移 (1995～2017)



国別・都市別国際会議開催件数（2017年）

国別の開催件数

順位	国名	件数
1	米国	941
2	ドイツ	682
3	英国	592
4	スペイン	564
5	イタリア	515
6	フランス	506
7	日本	414
8	中国	376
9	カナダ	360
10	オランダ	307
11	ポルトガル	298
12	オーストリア	281
13	韓国	279
14	オーストラリア	258
15	スウェーデン	255
16	ブラジル	237
17	スイス	230
18	ポーランド	216
19	ベルギー	208
20	デンマーク	203

都市別の開催件数

世界順位	都市名	開催件数
1	バルセロナ	195
2	パリ	190
	ウィーン	
4	ベルリン	185
5	ロンドン	177
6	シンガポール	160
7	マドリッド	153
8	プラハ	151
9	リスボン	149
10	ソウル	142
11	ブエノスアイレス	131
12	ブダペスト	128
13	香港	119
14	ダブリン	117
15	コペンハーゲン	115
16	アムステルダム	112
17	バンコク	110
18	東京	101
19	ストックホルム	97
20	モントリオール	96
	ローマ	
22	ブリュッセル	90
23	ワルシャワ	89
24	ヘルシンキ	87
25	北京	81

アジア大洋州・中東地域の都市別開催件数ランキング

アジア大洋州 中東地域順位	世界順位	都市名	開催件数 (前年)
1	6	シンガポール	160
2	10	ソウル	142
3	13	香港	119
4	17	バンコク	110
5	18	東京	101(95)
6	25	北京	81
7	26	シドニー	76
		台北	
9	35	メルボルン	67
10	38	クアラルンプール	65
11	39	上海	61
12	41	ニューデリー	59
13	50	京都	46(58)
14	59	マニラ	42
15	62	パリ	40
21	104	名古屋	25(16)
22	108	札幌	24(17)
32	156	福岡	17(23)
		大阪	17(25)
35	166	横浜	16(21)
45	193	金沢	14(8)
52	228	千葉	12(5)
58	248	つくば	11(6)
61	266	神戸	10(21)
71	299	広島	8(9)
		北九州	8(7)
		奈良	7(15)
78	325	岡山	7(-)
		仙台	7(13)
90	406	大津	5(-)

JNTO基準による都市別 国際会議の開催件数（2012年～2016年）

順位	2012年	件数	2013年	件数	2014年	件数	2015年	件数	2016年	件数
1位	東京	500	東京	531	東京	543	東京	557	東京	574
2位	福岡市	252	福岡市	253	福岡市	336	福岡市	363	福岡市	383
3位	京都市	196	横浜市	226	京都市	202	仙台市	221	京都市	278
4位	横浜市	191	京都市	176	横浜市	200	京都市	218	神戸市	260
5位	大阪市	140	大阪市	172	名古屋市	163	横浜市	190	名古屋市	203
6位	名古屋市	126	名古屋市	143	大阪市	130	名古屋市	178	横浜市	189
7位	千里地区	113	千里地区	113	千里地区	104	大阪市	139	大阪市	180
8位	神戸市	92	神戸市	93	札幌市	101	神戸市	113	札幌市	115
9位	仙台市	81	札幌市	89	神戸市	82	札幌市	107	仙台市	115
10位	札幌市	61	仙台市	77	仙台市	80	千里地区	94	北九州市	105
11位	つくば地区	53	北九州市	57	北九州市	73	北九州市	86	千里地区	85
12位	北九州市	45	つくば地区	51	つくば地区	66	広島市	59	広島市	76
13位	広島市	37	広島市	50	広島市	50	つくば地区	53	つくば地区	50
14位	千葉市	32	奈良市	31	奈良市	45	奈良市	36	千葉市	43
15位	奈良市	30	千葉市	28	岡山市	33	岡山市	33	奈良市	39

千里地区：大阪府の豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市
 つくば地区：茨城県のつくば市、土浦市

- 海外で開催されるMICE見本市に出展し、日本で開催される可能性のある国際会議やインセンティブ旅行等に関する情報交換や商談を行う。



名称：The Worldwide Exhibition for Incentive Travel, Meeting and Events
 会場：Messe Frankfurt
 会期：2018年5月15日（火）～17日（木）
 規模：招待バイヤー：3,942名（86ヶ国・地域）
 ※2017実績 来場者：8,885名
 出展者：3,500団体・企業（150ヶ国・地域）



Japanブース出展概要	
共同出展者	22団体
C V B	札幌・仙台・千葉・東京・横浜・大阪・神戸・広島・福岡・沖縄
会議場	名古屋国際会議場
D M C	JTB-GMT・JTB-Germany・阪急交通社 日本旅行・東日旅行・KNT-CT
ホテル	ヒルトンジャパン・プリンスホテル・椿山荘
PCO	サクラインターナショナル
D M O	DMO東京丸の内

名称	会期	開催国 都市	概要
	2018年 5月15日(火) ～17日(木)	ドイツ フランクフルト	共同出展団体数：22社
	2018年 8月7日(火) ～8日(水)	台湾 台中・台北	台湾のインセンティブ旅行取扱旅行会社と日本のCVB、DMO、ホテル等の間で商談を行い、今後の誘客につなげる。 日本側参加団体（セラー）：台中15社、台北20社程度 台湾側参加団体（バイヤー）：台中30社、台北60社（予定）
シンガポール MICEセミナー	2017年 10月16日(火) (予定)	シンガポール	インセンティブ旅行のみならず、MICEを扱うバイヤーを招集して行うセミナー・商談会 日本側参加団体（セラー）：15団体程度（予定）
	2018年 11月27日(火) ～29日(木)	スペイン バルセロナ	共同出展団体数：20社程度（予定）
韓国大型 インセンティブ 旅行セミナー	2018年 12月4日(火) (予定)	ソウル	500名以上のインセンティブ旅行を取り扱うことができる開催地を対象とするセミナー・商談会 日本側参加団体（セラー）：15団体程度（予定）

国際会議等MICEを戦略的に誘致するため、産業界や学術分野において国内外に対し発言力やネットワークを有する方々を日本の「MICEアンバサダー」として委嘱。

MICEアンバサダーの活動

- ・ 日本への国際会議等の誘致・開催に向けた促進活動
- ・ 日本国内における国際会議開催の意義についての普及啓発活動
- ・ 会議開催地としての日本の魅力を海外に向けて発信する広報活動



チーム・ジャパンでの誘致活動支援

JNTOの支援メニュー



CVBの支援メニュー

<JNTOによる国際会議誘致活動支援メニュー>

- ・ 立候補書類（ビッド）の作成支援
- ・ プレゼンテーションスキルアップ支援
- ・ プレゼンテーション資料作成支援
- ・ 開催地決定権のあるキーパーソン招請支援
- ・ 日本ブースの出展支援、ジャパンナイトの開催支援

<JNTOによるアンバサダー・ネットワーク形成支援>

- ・ 「アンバサダーの集い」の開催

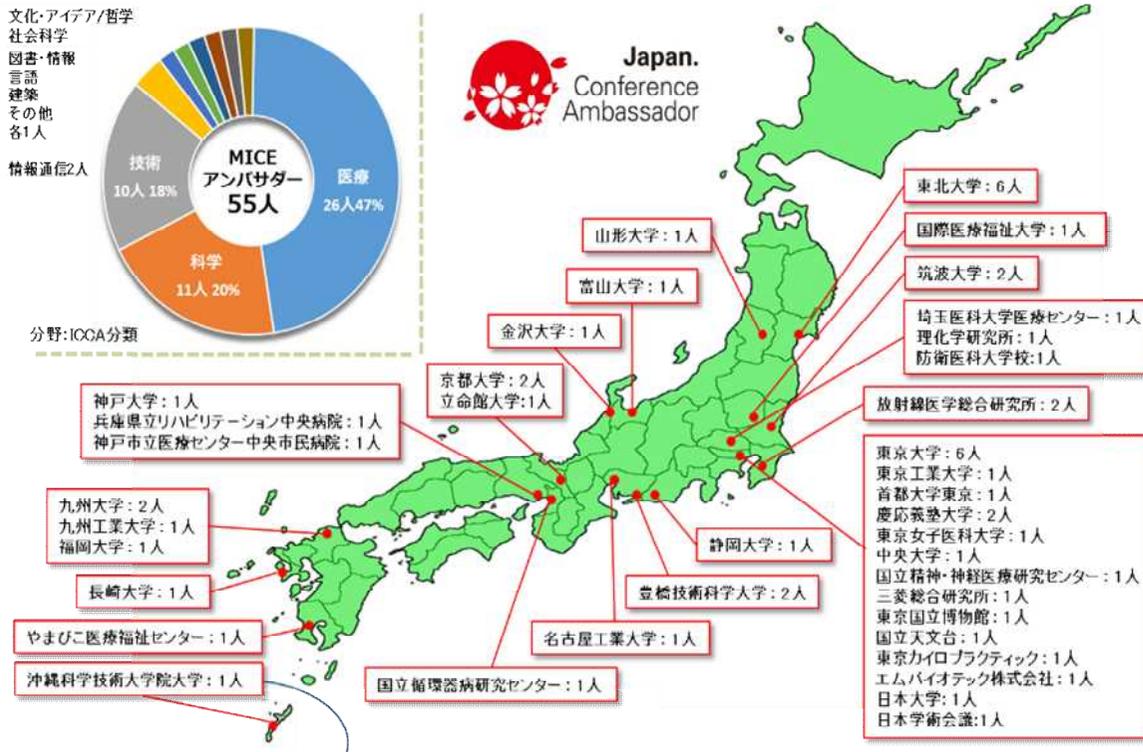


2016年度「アンバサダーの集い」

「MICEアンバサダー」制度の強化

具体的個別案件を有する主催者を対象としていた「MICEアンバサダー」制度を見直し、国内外への影響力を有し、かつ、MICEの誘致活動や意義の啓発に協力的な人材（インフルエンサー）も対象に追加し、制度を強化。

MICEアンバサダーの所属先・分野（2018年4月現在）



MICEアンバサダーによる会議開催事例の共有

第23回 世界神経学会議 (WCN2017)

国際会議主催者セミナーでの事例紹介

【日程】2017年9月16日 - 21日

【開催地】京都国際会館

【参加者】8641名（海外3530名、国内5111名）

【成功ポイント】

- ・国内大会との同時開催。日本語でのプログラムも設ける等の工夫により国内参加者増
- ・ノーベル賞級の講演者を確保
- ・醍醐寺や平安神宮をユニークベニューとして活用等、日本文化にふれあう機会を創出
- ・（台風にもかかわらず）スムーズな進行・運営

2014年度
「国際会議誘致・開催貢献賞」受賞

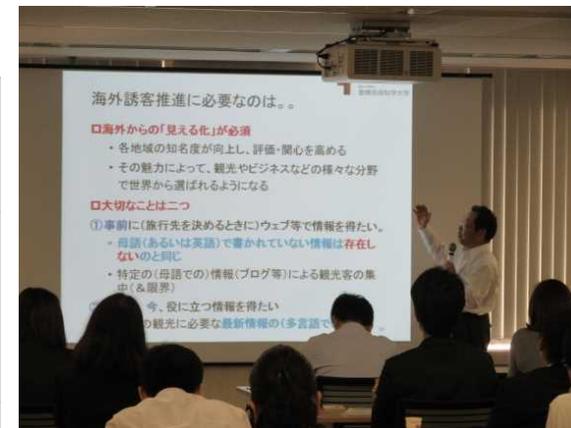


水澤 英洋 (みずさわ ひでひろ)
日本神経学会前代表理事
第23回世界神経学会議会長

医学系メディア
Medical Tribuneでの
記事掲載

MICEセミナー <初級者対象>

<p>概要</p>	<p>日本のMICEの概要、国際会議の誘致・セールス活動手法、インセンティブ旅行の基礎を学ぶ。</p>
<p>対象</p>	<p>国際会議観光都市やコンベンション推進機関等において、コンベンション業務を担当する職員のうち、概ね実務経験3年未満の方</p>
<p>開催日時</p>	<p>平成30年5月30日（水）13:30～19:00</p>
<p>開催場所</p>	<p>トラストシティ カンファレンス・丸の内</p>
<p>参加者</p>	<p>70名程度（予定）</p>
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○MICE誘致の現状とJNTOの取組みについて 日本政府観光局（JNTO）コンベンション誘致部 川崎 悦子 ○MICE概論 ～MICEのメカニズムと地域のMICE振興 川島アソシエイツ代表 川島 久男 氏 ○ケーススタディ DMOから学ぶMICEとは DMO六本木 事務局長 森ビル株式会社 アカデミーヒルズ事業部 課長 坂本 和也 氏 ○意見交換会



北海道のMICEに関する取組例

国際会議の誘致・開催支援

The 30th World Buiatrics Congress 2018 Sapporo
 第30回世界牛病学会 2018 札幌
 28 Aug. – 1 Sept., 2018 Sapporo Convention Center
 President: Motoshi Tajima (Rakuno Gakuen University)

会議名	第30回世界牛病学会 The 30th World Buiatrics Congress 2018 Sapporo (WBC 2018 Sapporo)
開催都市・会場	札幌市・札幌コンベンションセンター
予定開催期間	2018年8月28日(火)～9月1日(月)
会議規模	約1,600名(海外:1200名 国内:400名)
予定参加国数	約40カ国
誘致支援及び開催支援	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産大臣、観光庁長官、JNTO理事長の招請状を发出 JNTOの寄附金・交付金制度のご活用。

農林水産大臣招請状

Japanese Society of Farm Animal Veterinary Medicine, the host organization, is affiliated to the largest national veterinary association, the Japan Veterinary Medical Association. It is assured that the association fully supports the success of the first Congress to be held in Asia.

I believe the World Buiatrics Congress 2018 Sapporo will promise you and all other delegates and their accompanying persons great satisfactions.

I heartily expect the 30th World Buiatrics Congress to be held in Japan in 2018.

Sincerely,

January 22, 2014

林芳正
 Yoshimasa Hayashi
 Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries
 Japan

観光庁長官招請状

January 28, 2014

Professor Walter Baumgartner,
 President of the World Association for Buiatrics

Dear Professor Baumgartner,

I would like to extend my sincere support to Sapporo as a candidate city for hosting the World Buiatrics Congress (WBC).

Japan is a unique country where East meets West. It possesses traditional cultures and one historical and developed in an original way over its long history, including local cuisines featuring outside tastes. Japan is also rich in scenic landscapes that include natural elements that change throughout the seasons.

Our candidate city, Sapporo, is located in Hokkaido, the island in northern Japan, known for its beautiful natural scenery and delicious cuisine. Hokkaido accounts for over 50% of Japan's raw milk production, and is thus closely linked to the development of the field of Buiatrics. Sapporo is also renowned as one of the most attractive tourist destinations in Japan, and I believe that the city will offer a satisfying experience to all the participants.

If the WBC's field in Sapporo in Japan, I can guarantee that all participants will be welcomed with our wholehearted hospitality, that is full of the citizens of Japan. I would like to express my eagerness to have the honor to host the WBC in 2018.

Yours sincerely,

Shigeto Kubo
 Shigeto Kubo
 Consul-General
 Japan Tourism Agency
 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

JNTO招請状

February 1, 2014

Prof. Walter Baumgartner,
 President of World Association for Buiatrics

Dear Prof. Walter Baumgartner,

It is with great pleasure that I write this letter to extend my full support for Japan's bid to host the World Buiatrics Congress 2018.

The candidate city, Sapporo, is the prefectural capital of Hokkaido, which is the northernmost island in the Japanese Archipelago. Recently, Hokkaido has gained popularity among overseas tourists because of its distinctive climate and magnificent nature. Hokkaido enjoys highland cool weather and beautiful seasonal scenery, such as purple heather and other flowers in summer and snow-capped peaks and paths by autumn leaves. The prefecture shows its winter in perfect for snow festivals and winter sports.

Hokkaido, the leading prefecture for the livestock industry, is known for the production of various dairy products. The central government has steps to develop the land in the way of "encouraging growth to engage to Hokkaido from other regions of Japan. These immigrants allowed visitors of well-hand to create scale agricultural or pastoral farms. Through their hard work, the land was cultivated and transformed into verdant fields.

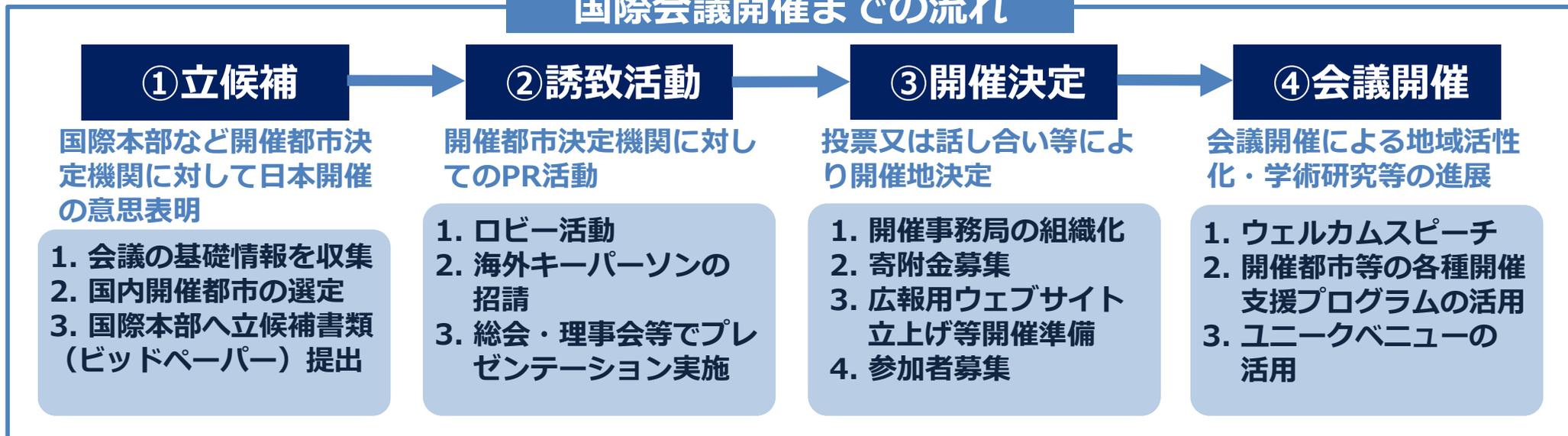
Thanks to these pioneers, Hokkaido's big farms continue to produce fresh milk, cream, yogurts, and other dairy products today.

As president of the Japan National Tourism Organization, I am confident that all the delegates will enjoy the natural environment in Hokkaido. I encourage you to select Japan as the site for your conference and I look forward to the pleasure of welcoming you and your delegates to Japan in 2018.

Yours sincerely,

R. Mitsu
 Ryo Mitsu
 President
 Japan National Tourism Organization

国際会議開催までの流れ



JNTOの支援内容

